

第 37 回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト開催要項

<大学・職場・一般の部>

第 30 回東海アンサンブルコンテスト予選 / 第 27 回全日本アンサンブルコンテスト予選

1. 概要

- (1) 名 称 第 37 回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト
- (2) 期 日 平成 16 年 1 月 18 日 (日) 10:00 開場 10:30 開演 16:30 終了予定
- (3) 会 場 長泉町文化センター ベルフォーレ ホール
- (4) 主 催 静岡県吹奏楽連盟 / 朝日新聞社
- (5) 主管/担当 静岡県大学・職場・一般吹奏楽連盟
- (6) 後 援 静岡県教育委員会 / 東海吹奏楽連盟 (すべて申請中) / 長泉町教育委員会
- (7) 協 賛 社団法人 日本音楽著作権協会静岡支部
- (8) 審 査 員 五十嵐清 (ユーフォニアム奏者、吹奏楽指導者)
桜井牧男 (サクソフォン奏者 / 名古屋芸術大学講師)
水谷 仁 (名古屋フィルハーモニ交響楽団ホルン奏者)
- (9) 参加資格 本連盟実施規定に基づく
- (10) 参加人員 本連盟実施規定に基づく (コンテスト: 3 名以上 8 名以下)
- (11) 演奏曲目 本連盟実施規定に基づく
- (12) 演奏時間 本連盟実施規定に基づく (コンテスト: 5 分)
- (13) 演 奏 順 コンテストに参加するすべての団体を対象にランダムに決定する。ただし、打楽器アンサンブル等は搬出入等をスムーズに行うため演奏順を配慮する。なお、演奏順の抽選は、理事会にておこなう。
- (14) 東海大会 東海大会への静岡県代表団体数
大学・職場の部: 各 1 グループの他、選択で 3 グループ
一般の部 : 5 グループ
今年、東海大会が静岡県主管のため、例年よりも代表数が多く割り当てられている。(大学・職場の部で 1 グループ、職場の部で 1 グループ)
同一団体からは 2 グループを限度とする。
静岡県代表グループは金賞受賞グループより選出する。
日程: 中学校・大学・職場の部 平成 16 年 2 月 14 日 (土) 10:00 開演
高等学校・一般の部 平成 16 年 2 月 15 日 (日) 10:00 開演
会場: 静岡市民文化会館 中ホール
- (15) 表 彰 表彰は、金賞、銀賞、銅賞とし賞状を授与する。部門ごとの最高得点団体にはグランプリを授与する。また、すべての部門を通じて最高得点団体には、朝日新聞社賞が授与される。
- (16) 参加費等 参加費: 演奏者 1 人あたり 1,500 円
著作権使用料: 著作権使用料の支払い方法変更のため、参加グループ数が決

まり次第使用料を参加グループ数で割り参加費に加算して請求する。

(17) 交通費等 参加にかかる交通費は、参加団体が負担する。

2. 参加申し込み方法

(1) 手続き

参加申し込み手続きの方法には、(a)インターネットを介したオンラインによる申し込みと、(b)郵送またはファックスによる申し込み、の2種類があります。事務処理軽減のため、なるべくオンラインで申し込んでください。

(a) オンライン申し込み(推奨)

以下のオンライン申込用ウェブサイトアクセスして必要事項を打ち込み送信してください。
<http://www.music.ne.jp/~sui ren/register/ensemble.html>

申込用紙と同じ内容の項目を入力できるようになっています。

必要事項を記入の上、[送信]ボタンを押してください。正しく送信されると申込をした本人宛に確認のメールが届きます。

確認のメールが届かない時には鈴木(suzukish@cce.numazu-ct.ac.jp)までお問い合わせください。また、楽譜の表紙等を画像ファイルにして送信することが困難な時は別途郵送またはファックスで送信していただいてもかまいません。

(b) 郵送またはファックスによる申し込み

別紙参加申込用紙に必要事項を記入の上、楽譜の表紙(曲名、作曲者・編曲者名・楽器編成および出版社が分かる所)のコピーとともに下記の担当者宛に郵送またはファックスで送信してください。

〒410-8501 沼津市大岡 3600 沼津工業高等専門学校 制御情報工学科 鈴木茂樹
 電話・FAX番号 055-926-5968

(3) 申込締め切り 平成15年12月22日(月)午後5時まで

(4) 演奏者の変更について

参加申込書に登録した出演者が病気等の理由により当日演奏ができない場合には、当日演奏者変更届を提出することによって演奏者の交代を認めます。演奏者変更届の様式は開催要項の末尾に掲載してあります。

3. その他

(1) 入場方法 入場料無料、全自由席

(2) プログラム 参加者分を無料で配布します。余分に必要な場合は受付にお申してください。

(3) 練習会場 主催者側では用意いたしません。

(4) 問合せ先 その他不明な点は、鈴木茂樹までご連絡ください。

〒410-8501 沼津市大岡 3600 沼津工業高等専門学校 制御情報工学科
 電話・FAX番号 055-926-5968

4 . 参加申込書の記入方法の詳細

- 1 . 申し込みは、事務処理軽減のため、なるべく申込みウェブページよりオンラインで行ってください。
- 2 . 団体名は、正式名称を記入してください。ここで記入した団体名が賞状や放送原稿で使用されます。
- 3 . 演奏形態の欄には打楽器と管楽器の混成の場合、打楽器が主なのか、管楽器が主なのかを明記してください。また、その他特殊な編成の場合にもその編成を明記してください。ただし、管楽器だけを使用している場合には書く必要はありません。金管、木管の混成ならば管楽重奏と記してください。

(記入例 1) 管打楽器八重奏 (打楽器が主)

(記入例 2) 混成五重奏 (弦バス + サクソフォン四重奏)

- 4 . 演奏者名の順番はどのような順番でも構いません。演奏者名とともにパート名 (基本的には担当楽器名) も記入してください。
- 5 . 演奏曲目の曲名は、外国曲の場合、必ず原題を原語で記入してください。音楽著作物使用申請をする際に事務局で必要となりますので、ご協力ください。また、組曲のような場合には、楽章ごとの標題について、日本語名および原語名を記入してください。標題がない場合には第何楽章または第何曲という表記で構いませんが、アラビア数字なのか、ローマ数字なのかの区別は明確にしてください。なお、ロシア語などの東欧圏の言語は、すべて英語表記としてください。
- 6 . 作曲者・編曲者は、必ずフルネームを日本語と原語で表記してください。なお、ロシア語などの東欧圏の言語はすべて英語表記としてください。
- 7 . オンライン申込みの場合、曲名、作編曲者名等を原語で表すことが困難な場合 (英語以外の外国文字、漢字の旧字体など) は、適当な当て字を使いその旨を備考欄に記入してください。
- 8 . オンライン申込みの際、1 バイトのかな文字 (いわゆる半角カタカナ)、コンピュータの機種に依存する文字 (丸囲み数字、ローマ数字など) は使わないでください。特に楽章を表すローマ数字にはご注意ください。(アルファベットの I , V を使用のこと)
- 9 . レンタル楽譜使用や著作権保護期間にある作曲家の曲の編曲及びその演奏許諾については、承諾を受けていることを証明する文書のコピーを必ず添付してください。
- 10 . 申込書提出時には、自由曲のフルスコアの表紙の部分 (曲名、作曲者、編曲者、出版社等がわかるもの) のコピーを添付してください。
- 11 . オンライン申込みの場合、編曲許諾書および楽譜の表紙は、適当な画像ファイルにして申込みウェブページより送信してください。画像ファイルの大きさは、合計で 200 キロバイト程度以下としてください。サイズが大きすぎるとエラーになることがあります。ウェブからファイルの送信ができないときは、別便 (郵送またはファックス) でお送りください。
- 12 . 録音、写真撮影については、著作権保護に伴うこれらの可否の問題だけでなく、各出演団体としてこれらの行為を承諾するか、辞退するかの意思表示をしてください。

5. アンサンブルコンテストでの楽曲の演奏について

従来アンサンブルコンテストにおいては、コンテストの人数制限や技術的難易度、楽器の有無などを理由に、楽譜の指定とは異なる編成や楽器の利用が行われてきましたが、一昨年度の全日本吹奏楽連盟通常総会においてこの件について議論された経緯もあり、意思統一をはかっていたきたいと思います。

【大前提】どのような曲も楽譜に指定された編成で演奏すること。

編成や楽器の変更は編曲行為にあたる

楽譜と異なる方法で演奏する場合には、その曲の著作権がある時には著作権者(外国曲の場合には日本での代理店)の承諾を得なければなりません。ところが特に外国曲の場合、こうした申請に対してすべて許諾書を出すということは膨大な数になるため、事務手続き上不可能です。従って、日本の代理店はこうした申請に対して承諾書を出していません。つまり、編成や楽器を変更して演奏させて欲しいという要請には基本的にはOKとは言ってくれません。自信で編曲したスコアを提出し、編曲許諾申請をするのであれば話は違ってきますが・・・

しかし、現状ではコンクールにおける代替楽器の使用(自由曲、課題曲ともにその楽器が無い場合、スコアに指定された編成の中にある別の楽器委で演奏することを認めている)や楽曲のカットなど、本来は著作権に触れるような部分を暗黙のうちに容認していることもあり、アンサンブルコンテストにおいては編成や楽器の変更はこれらと同様に暗黙のうちに容認されているのです。コンクール、コンテストという特殊な場であること、中学や高校では教育活動の一環として行われていることなども考慮されているようです。あまり深刻に考えすぎない方がよいと思いますが、大原則は「楽譜に指定された編成・楽器で演奏すること」であることを忘れないください。なお、バッハやガブリエリなどの既に著作権が存在しない作曲家の曲は、自分の団体の実情に合うような編成・楽器で個人が編曲することは全く問題ありません。F.ジョーンズの編曲で出版されている楽譜はこの手のものが多いですが、バンドジャーナルの付録にもなった「スザート組曲」などげんきよくを個人で編曲すればよいのです。

1つのパートを2人で演奏することは不可

これは規定で禁止されています。特に打楽器アンサンブルの場合、1人では演奏困難なために1パートを2人で演奏することが考えられますが、これはアンサンブルコンテストの実施規定違反ですので認められません。どうしてもアマチュアでは演奏不可能なので、1パートを2人で演奏したい場合には編曲をしてスコアを著作権者に提出し、その許諾を得ることになります。単に1パートを2人で演奏したいと申し出ても、と同様で許諾書を出してはもらえません。

これらの点について疑問がある場合には事務局または3-(4)の問合せ先にお問い合わせください。

第 3 7 回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト 大学・職場・一般の部
参 加 申 込 書

年 月 日

部 門	大学・職場・一般	団 体 名			
演奏形態			椅子および 譜面台数	椅子	脚・譜面台 台

演 奏 者 名	パート	演 奏 者 名	パート

演奏曲名	邦題		
	原語		
作曲者名	邦名		
	原語		
編曲者名	邦名		
	原語		
使用楽譜	出版社名		
	(注1) 使用楽譜は出版社名を国内以外は原語で記入してください。 (注2) 未出版の場合には上記括弧欄に「Manuscript」と記入し、レンタル楽譜の場合には「レンタル」と記入してください。		
レンタル楽譜使用の許諾	許可条件(録音, 録画等の可否など)		
著作権保護期間中に ある作曲家の作品の 編曲および演奏の許諾	許可条件(録音, 録画等の可否など)		
交通手段	大型バス	台/乗用車	台/トラック ()トン車 台
連絡先	住所 〒		
	氏名		
	電話	F A X 番号	
	携帯	e-mail	

静岡県吹奏楽連盟 様

上記のとおり県大会への参加申込をします。

記載責任者名	
--------	--

演奏者変更届の様式

平成 1 6 年 × 月 × 日

(社)全日本吹奏楽連盟会員 静岡県吹奏楽連盟
会 長 中上 禮一 様

参加団体名を記入

代表者名または顧問名を記入

(印は不要)

第 37 回静岡県管打楽器アンサンブルコンテストの演奏者変更について(報告)

標記の件について下記のとおり変更しますので、御報告いたします。

記

1. 団体名および編成名

<例> ××吹奏楽団 クラリネット八重奏

2. 演奏者の変更(注:担当パート名,変更前 変更後の順で記入)

<例> 1st クラリネット 吉田圭子 佐藤恵子

3. 変更の理由

<例> 1st クラリネットを担当する予定であった吉田圭子が、風邪による発熱で出場
ができなくなったため。

4. 連絡先(注:事務局から連絡する方の名前を記入)

<例> ××吹奏楽団 青山茂樹 電話 090-9999-9999